

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



渡部 哲男

(愛媛/84期)

全日本選抜ではちょっとニュートラルに入っている感じがなくて、そこを(地元記念までの)1カ月で詰めていきたい。余裕がないと前も残せないしけん制もできない。なにもできない。だからそこは絶対に必要。変にプレッシャーを自分に与えないけど、連覇は意識したいですね。

松本 貴治

(愛媛/111期)

ヤンググランプリを獲って、そこまで変わったことはないんですが、やっぱり周りから少しは注目されるので、気は引き締まります。地元はF1でも記念でも走る時はいつも気持ちが入る。応援もたくさんもらえますからね。優勝を目指して頑張ります。



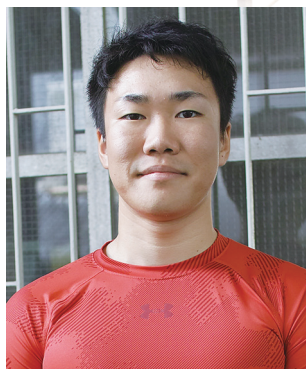
鈴木 裕 (千葉/92期)

十八番のまくりは破壊力抜群で、今年ハイペースで勝ち星を稼いでいる。初戦の1月大宮記念で5①⑤①着と2勝を挙げると、2月平1①④着、同月大垣1③①着と2月末までに早くも9勝。大暴れが期待できる。



佐伯 辰哉 (広島/109期)

ここのところやや成績を落としていたが、2月玉野は3日間逃げて2②③着と好走した。準決で嶋津拓、松岡篤らを沈黙させると、決勝は野原雅にまくられたものの太田竜に先着。先行力発揮し台風の目と化すか。



山田 諒 (岐阜/113期)

G3開催の一次予選は目下のところ4連勝中。すべて逃げ切ったのもので、主導権を握ると強靱な粘りを発揮する。今年初のG3参戦でいつも以上に気合も入っているはず。一度しか突破してない二次予選の壁を乗り越えたい。

S級ブロックセブン

3/15 (最終日) 6R

ブロックセブンとは

「推理しやすい、わかりやすい、的中しやすい」をコンセプトにした、競輪独特の「地区」の色合いをより濃く打ち出したS級7車立ての新たな単発レース。

地元の佐々木豪がどこまで意地を見せられるか。状態の良さは東の主力2人に劣らず、1月立川2③①⑨着、平1①⑧①着と記念開催でも好走している。強烈ダッシュで繰り出すカマシ、まくりがハマれば勝てる。

実績優る渡邊雄太が主役の座を譲らない。軽快な動きを披露している近況で、地元2月静岡記念は⑦②①⑧着。決勝は南関ラインの先導役を買って出て逃げ潰れたが、準決は打鐘前からの先行策で別線に手出しをさせなかった。大槻寛徳、内藤高裕が援軍に回ってライン3車で戦えそうだし、ここも先行基本の組み立てから押し切るとみた。ただ、大槻なら逆転も怖い。1月に落車はあったが、差し脚快調で全日本選抜では3連対を果たしたほどだ。

渡邊雄太が押し切る



渡邊雄太